

# 2016年3月期 決算説明会

2016年5月12日

株式会社日本エム・ディ・エム

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 目次

## 1. 2016年3月期連結決算結果

①連結売上高推移 高成長継続	...	3
②連結損益計算書	...	4
③主要品目別連結売上高	...	5
④前期営業利益比較分析	...	6
⑤予想値対比	...	7

## 2. 2017年3月期連結業績予想

①連結損益計算書	...	8
②主要品目別連結売上高	...	9
③「MODE2017」進捗報告	...	10

## 3. Topics

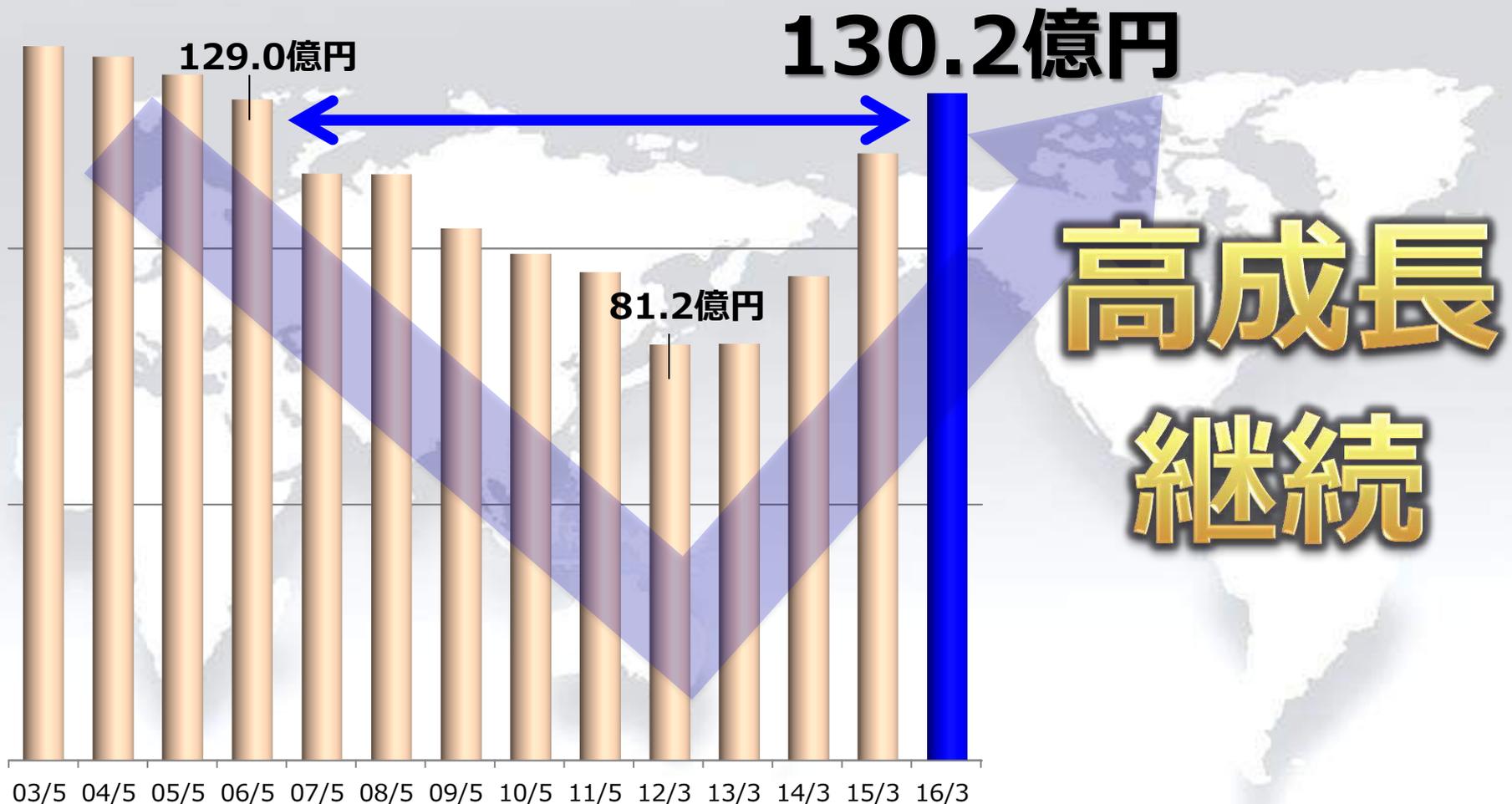
①日本特殊陶業株式会社と資本及び業務提携契約締結	...	11
②人工股関節新製品『Alpine セメントッドヒップシステム』米国及び日本国内で薬事承認取得	...	12
③骨接合材料売上推移	...	13
④脊椎固定器具売上推移	...	14
⑤-a米国販売推移 5年で2倍、高成長	...	15
⑥-b米国販売推移 人口が集中する東・西海岸地域の売上成長が牽引	...	16

## 4. 設備投資等推移

...	17
-----	----

# 1. 2016年3月期連結決算結果①

(連結売上高推移)



# 1. 2016年3月期連結決算結果②

## 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	16年3月期		前期比増減		15年3月期	
	実績	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	13,024	100.0	+1,169	+9.9	11,855	100.0
売上原価	3,820	29.3	+252	+7.1	3,568	30.1
売上総利益	9,203	70.7	+917	+11.1	8,286	69.9
販管費	7,496	57.6	+504	+7.2	6,991	59.0
営業利益	1,707	13.1	+412	+31.8	1,295	10.9
営業外損益	△ 171	△ 1.3	+37	△ 17.8	△ 208	△ 1.8
経常利益	1,536	11.8	+449	+41.4	1,086	9.2
特別損益	△ 324	△ 2.5	△ 215	+196.9	△ 109	△ 0.9
当期純利益※	800	6.1	+1,192	黒字転換	△ 391	△ 3.3

※親会社株主に帰属する当期純利益

# 1. 2016年3月期連結決算結果③

## 主要品目別連結売上高

(単位：百万円、%)

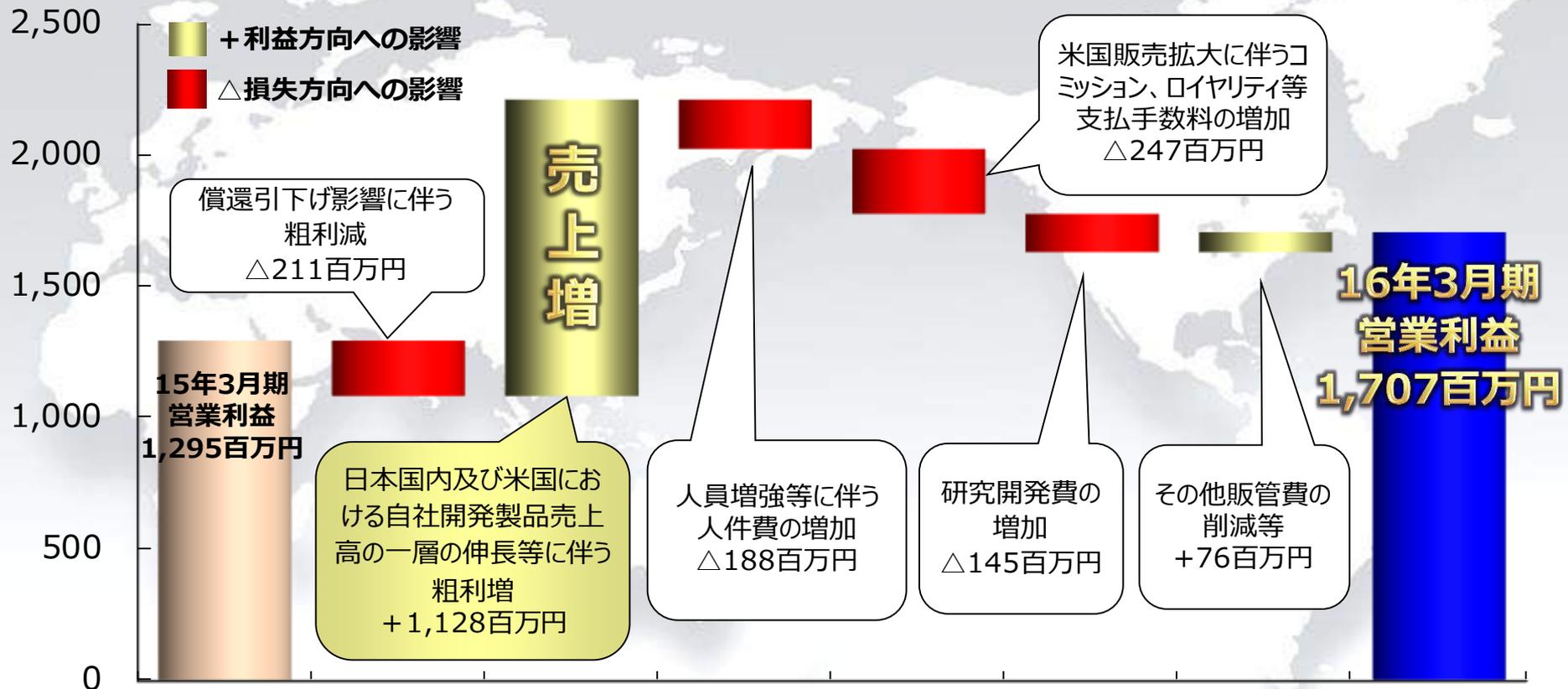
	16年3月期		前期比増減		15年3月期	
	実績	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
<b>日本国内販売</b>	<b>8,733</b>	<b>67.0</b>	<b>+581</b>	<b>+7.1</b>	8,151	68.8
人工関節	4,097	31.5	+258	+6.7	3,838	32.4
骨接合材料	2,936	22.5	+73	+2.6	2,863	24.2
脊椎固定器具	1,281	9.8	+415	+48.0	865	7.3
その他	417	3.2	△ 166	△ 28.5	584	4.9
<b>米国販売 (注)</b>	<b>4,291</b>	<b>33.0</b>	<b>+588</b>	<b>+15.9</b>	3,703	31.2
人工関節	4,095	31.4	+596	+17.0	3,499	29.5
脊椎固定器具	196	1.5	△ 7	△ 3.8	204	1.7
<b>合計</b>	<b>13,024</b>	<b>100.0</b>	<b>+1,169</b>	<b>+9.9</b>	11,855	100.0
<b>自社製品売上高</b>	<b>11,084</b>	<b>85.1</b>	<b>+1,575</b>	<b>+16.6</b>	9,508	80.2
(注) 米国販売額 (千ドル)	35,760		+2,103	+6.2	33,657	
(注) 換算レート (円)	120.01		+9.98		110.03	

※ 当連結会計年度より集計方法を一部変更しております。なお、前期比は前期実績を新しい集計方法で計算し表示しております。

# 1. 2016年3月期連結決算結果④

## 前期営業利益比較分析

(単位：百万円)



# 1. 2016年3月期連結決算結果⑤

## 予想値対比

2016年3月期は、売上高では繁忙期である下期の売上が暖冬等の影響により伸び悩み予想値を下回った一方で、経費面では製造コスト低減等による売上原価率の低下、医療工具の運用改善等による減価償却費の削減等により販管費が予想値を下回ったことから、営業利益、経常利益及び当期純利益で予想値を上回った。

(単位：百万円)

連結	2016年3月期 当初予想値	2016年3月期 修正予想値	2016年3月期 実績
売上高	13,300	13,350	<b>13,024</b>
営業利益	1,400	1,600	<b>1,707</b>
経常利益	1,200	1,400	<b>1,536</b>
当期純利益※	700	730	<b>800</b>

※親会社株主に帰属する当期純利益

## 2. 2017年3月期連結業績予想①

### 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	17年3月期		前期比増減		16年3月期	
	予想	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	14,000	100.0	+975	+7.5	13,024	100.0
売上原価	4,060	29.0	+239	+6.3	3,820	29.3
売上総利益	9,940	71.0	+736	+8.0	9,203	70.7
販管費	8,140	58.1	+643	+8.6	7,496	57.6
営業利益	1,800	12.9	+92	+5.4	1,707	13.1
営業外損益	△ 150	△ 1.1	+21	△ 12.4	△ 171	△ 1.3
経常利益	1,650	11.8	+113	+7.4	1,536	11.8
特別損益	△ 100	△ 0.7	+224	△ 69.2	△ 324	△ 2.5
当期純利益※	1,000	7.1	+199	+24.9	800	6.1

※親会社株主に帰属する当期純利益

# 2. 2017年3月期連結業績予想②

## 主要品目別連結売上高

(単位：百万円、%)

	17年3月期		前期比増減		16年3月期	
	予想	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
<b>日本国内販売</b>	<b>9,300</b>	<b>66.4</b>	<b>+566</b>	<b>+6.5</b>	8,733	67.0
人工関節	4,460	31.9	+362	+8.9	4,097	31.5
骨接合材料	2,980	21.3	+43	+1.5	2,936	22.5
脊椎固定器具	1,590	11.4	+308	+24.1	1,281	9.8
その他	270	1.9	△ 147	△ 35.4	417	3.2
<b>米国販売 (注)</b>	<b>4,700</b>	<b>33.6</b>	<b>+408</b>	<b>+9.5</b>	4,291	33.0
人工関節	4,500	32.1	+404	+9.9	4,095	31.4
脊椎固定器具	200	1.4	+3	+1.9	196	1.5
<b>合計</b>	<b>14,000</b>	<b>100.0</b>	<b>+975</b>	<b>+7.5</b>	13,024	100.0
<b>自社製品売上高</b>	<b>12,300</b>	<b>87.9</b>	<b>+1,215</b>	<b>+11.0</b>	11,084	85.1
(注) 米国販売額 (千ドル)	40,869		+5,108	+14.3	35,760	
(注) 換算レート (円)	115.00		△ 5.01		120.01	

## 2. 2017年3月期連結業績予想③

### 「MODE2017」進捗報告

売上高進捗厳しいも利益ベースでは順調に推移。2018年3月期目標達成を目指す。

(単位：百万円)	2016年3月期 実績/目標	2017年3月期 予想/目標	2018年3月期 目標
売上高	13,024/ 13,300	14,000/ 14,500	16,000
営業利益	1,707/ 1,400	1,800/ 1,600	2,000
経常利益	1,536/ 1,200	1,650/ 1,400	1,800
売上高成長率	9.9%/ 12.2%	7.5%/ 9.0%	10.3%
自己資本利益率	7.1%/ 6.0%	9.0%/ 7.0%	8.0%

# 3. Topics①

## 日本特殊陶業株式会社と 資本及び業務提携契約締結

両社の経営資源を有効に活用することにより、より一層の事業の拡大、業務の効率化を図り、医療機器分野における当社グループ及び日本特殊陶業グループの持続的成長を実現し、両社グループの企業価値を高めることを目的とし本資本業務提携を締結。

(業務提携の内容)

- ①日本特殊陶業の有する医療機器分野における国内販売、開発及び製造等の機能を有効に活用すること
- ②当社グループの有する医療機器分野における国内外の開発、製造及び販売ネットワークを有効に活用すること
- ③両社は開発製造及び販売等における協業の可能性を検討し、グローバル展開を促進すること

**NGK** | **NTK**  
スパークプラグ | ニューセラミック

日本特殊陶業



Japan  
Medical  
Dynamic  
Marketing,  
INC.

# 3. Topics②

## 人工股関節新製品『Alpine セメントッドヒップシステム』 米国及び日本国内で薬事承認取得

2016年2月から日本国内でも販売を開始した「Alpine ヒップシステム」の骨セメントを用いて固定する間接固定タイプのステム。「Alpine ヒップシステム」（直接固定型）との間で互換性を持たせ、手術前及び手術中において骨状態に最適なステム選択が可能となり、治療選択肢が増えた事でシナジー効果が期待される。



『Alpine セメントッドヒップシステム』

人工股関節製品

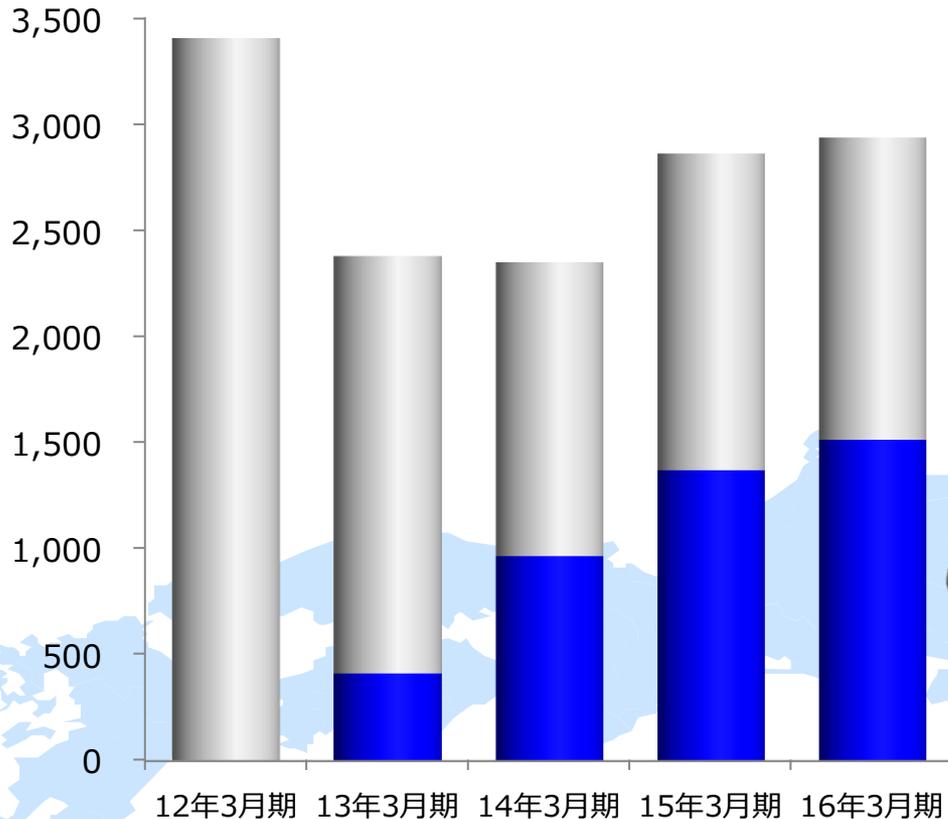


# 3. Topics③

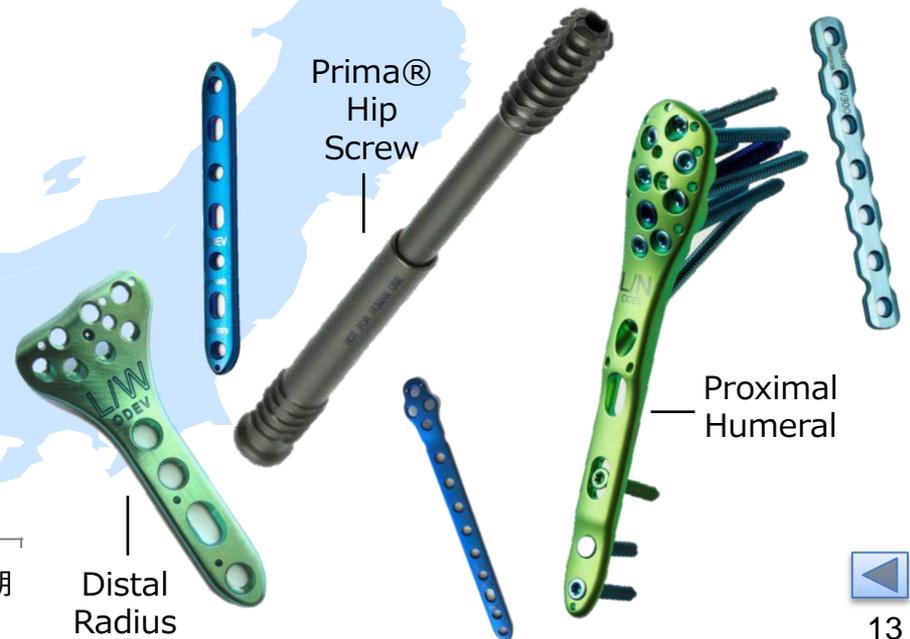
## 骨接合材料売上推移

(単位：百万円)

■ その他製品 ■ ODEV社製品



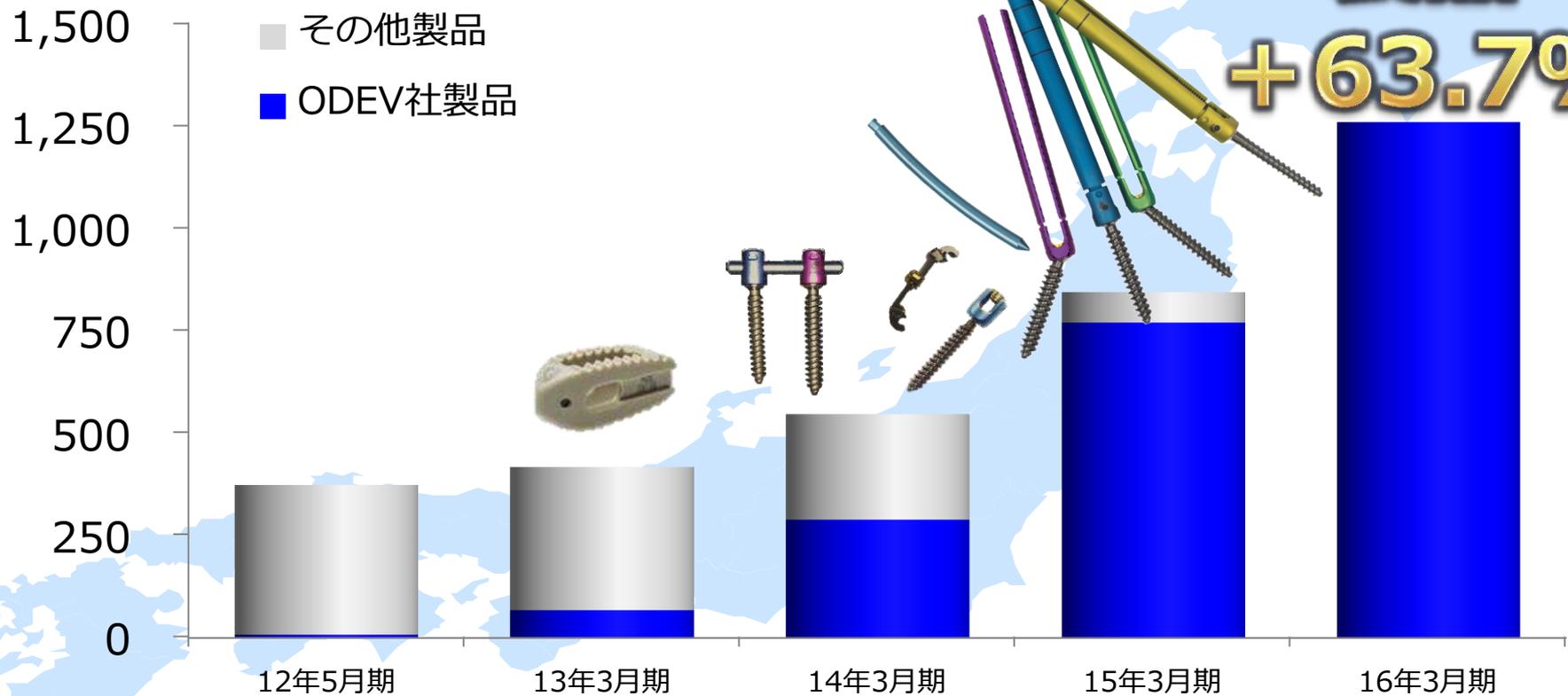
**ODEV社  
製品  
+10.5%**



# 3. Topics④

## 脊椎固定器具売上推移

(単位：百万円)



**ODEV社  
製品  
+63.7%**

※ 上記は、日本国内販売の比較を記載しております。



# 3. Topics⑤-a

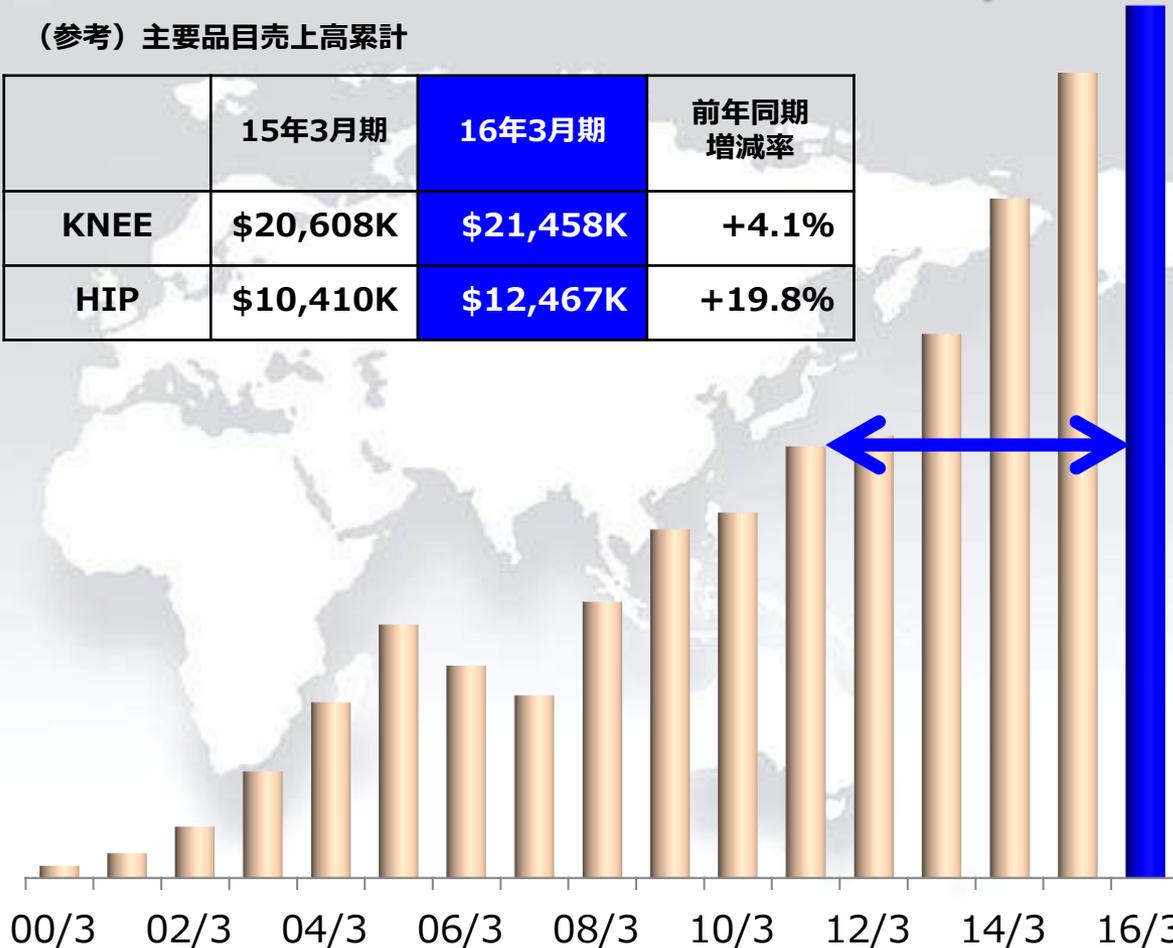
(米国販売推移)

(参考) 主要品目売上高累計

	15年3月期	16年3月期	前年同期増減率
KNEE	\$20,608K	\$21,458K	+4.1%
HIP	\$10,410K	\$12,467K	+19.8%

\$35.7M

5年で2倍  
高成長



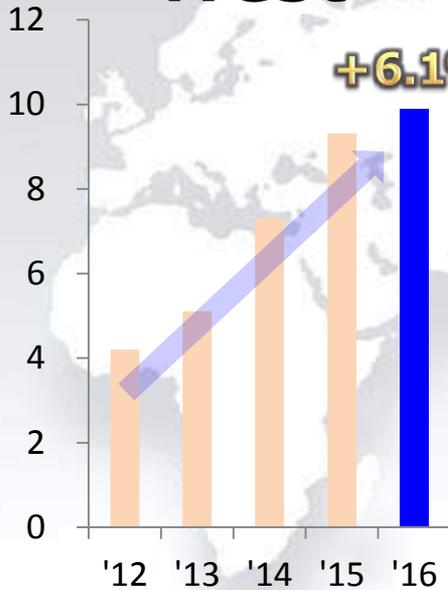
# 3. Topics⑤-b

## 人口が集中する東・西海岸地域の 売上成長が牽引

(単位：百万ドル)

### West

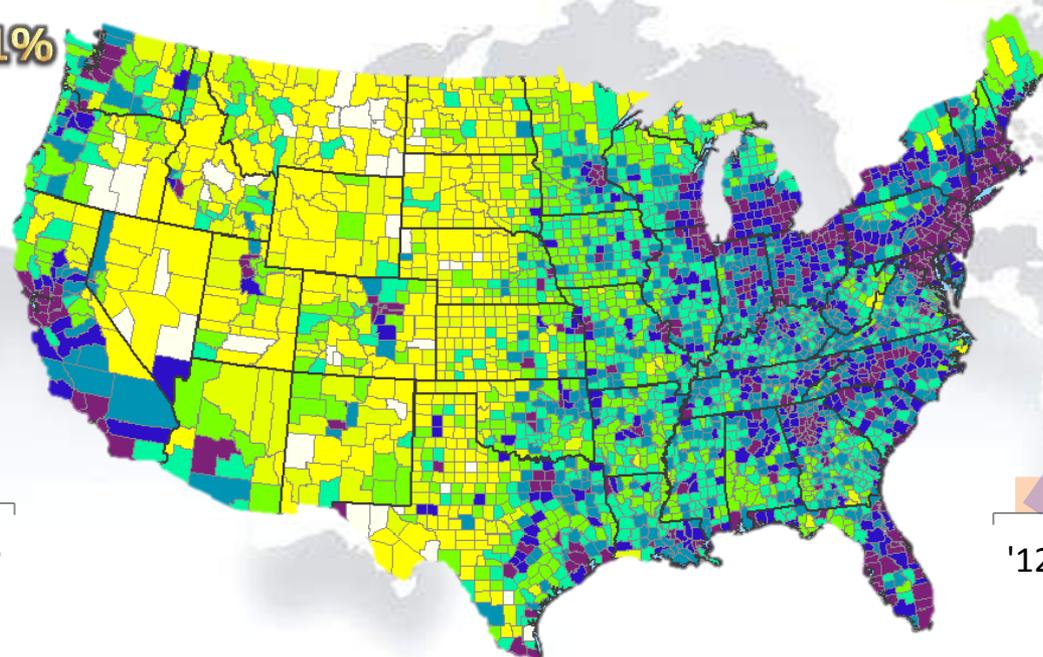
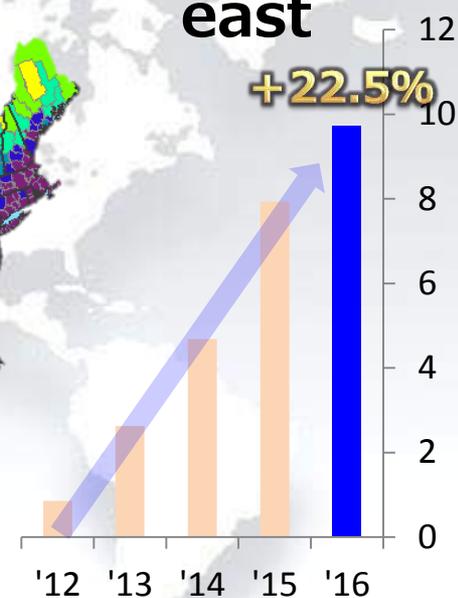
+6.1%



### North east

(単位：百万ドル)

+22.5%



# 4. 設備投資等推移

2012年 3月期 実績※2	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 実績	2016年 3月期 実績	<b>2017年 3月期 予想</b>
----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-----------------------------

(単位：百万円)

設備投資	888	1,673	1,351	1,116	1,884	<b>1,500</b>
減価償却費 ※1	673	804	927	1,101	893	<b>1,050</b>
研究開発費	214	336	326	330	476	<b>600</b>

※1 製造原価算入の減価償却費を含むため、損益計算書上の「減価償却費」とは一致していません。

※2 2012年3月期は決算期変更による変則10ヶ月決算。